

別添 2 -別紙 1 _令和 8 年度愛知県公立学校における1人1台端末（Chrome）の導入業務評価項目一覧

		評価項目				提案書記載項目	評価基準（提示用）	提案書 記述区分	評価方法	配点	配点
		大項目	中項目		小項目					（小項目）	（中項目）
技術評価										100.00	100.00
1.企業評価										80	80
										10.00	10.00
1.1	受託実績	1.1.1	端末等の調達に関する実績	-	-	・政府機関・地方自治体でG I G Aスクール関連の端末調達業務又はこれに類似する調達業務の契約を締結し、履行した実績を記載すること。（様式 3 - 3「契約実績証明書」に記載すること。）	類似実績が豊富にあるか。	必須	絶対評価	3.00	6.00
		1.1.2	共同調達に関する実績	-	-	・政府機関・地方自治体で端末等の共同調達業務又はこれに類似する業務の契約を締結し、履行した実績を記載すること。（様式 3 - 3「契約実績証明書」に記載すること。）	類似実績が豊富にあるか。	任意	絶対評価	3.00	
1.2	業務運営体制	1.2.1	企業体制	-	-	・本業務を遂行するための企業体制（代表会社、協力会社、再委託先等）を記載すること。 ・（共同事業体の場合は）各社の役割を記載すること。	・本業務を遂行するに妥当な体制となっているか。	必須	絶対評価	2.00	4.00
		1.2.2	業務運営体制	-	-	・本業務を遂行するための人員体制について、以下の事項を記載すること。 ・各チームの役割・チームごとの人員体制 ・専任・兼任の分類（兼任の場合は本業務従事の割合を記載すること。） ・人員配置に対するアピールポイント ・各社の要員（再委託等複数社で提案する場合）	・適切な管理責任者を配置し、事業の遂行に十分な体制になっているか。 ・人員配置に関して、妥当な理由・根拠・実績があるか。	必須	絶対評価	2.00	
2.提案評価										70.00	70.00
2.1	提案のコンセプト	2.1.1	仕様書全体及び「2背景・目的」「3前提事項」を踏まえた提案	-	本業務全体に対するコンセプト	・国の方針や県の状況を踏まえ、本業務に対する理解及びコンセプト（実施方針）を記載すること。	・国や県の方針を踏まえた、企画提案全体に明確で一貫したわかりやすいコンセプトがあり、そのコンセプトが本業務の目的に適合しているか。	必須	絶対評価	5.00	5.00

	評価項目				提案書記載項目	評価基準（提示用）	提案書 記述区分	評価方法	配点	配点	
	大項目	中項目	小項目	(小項目)					(中項目)		
				100.00					100.00		
2.2	仕様書に対する提案（提案 の有意性）	2.2.1	「4調達範囲」に対する提案	2.2.1.1	「基本パッケージ」「応用パッケージ」の提案	・本業務で提案する児童生徒用端末、周辺機器、ソフトウェア等について、「基本パッケージ」「応用パッケージ」ごとに以下の事項を記載すること。 ・製品情報（製品名、型番、メーカー等） ・製品の機能及び性能（別添 1 -別紙 1「端末スペック」に記載の各項目及び仕様に対して、もれなく記載すること。） ・製品の特長（選定理由、ウリ） ・1台当たりの金額	・本県および全国的なGIGAスクール構想第1期での課題点や、業務特性を踏まえ、適切な製品が選定されているか。	必須	絶対評価	26.00	41.00
				2.2.1.2	役務（運搬等）の提案	・各参加団体への端末導入にあたり、仕様書に記載の役務について、具体的な手法を記載すること（運搬、開梱、梱包物の廃棄、初期不良対応等）。 ・上記役務の内容等を各参加団体と調整するための具体的な手法を記載すること。 ・参加団体と提案者の役割分担を記載すること。	・役務に関する具体的な手法について、参加団体の業務負荷が考慮されており、有用な提案となっているか。 ・各参加団体との調整方法について、参加団体の状況が異なることが踏まえられており、かつ具体的な提案がなされているか。	必須	絶対評価	7.50	
				2.2.1.3	その他提案可能な製品	・本業務の調達範囲として示す端末本体、周辺機器等について、本紙「2.2.1.1」にて提案した製品以外に提案可能な製品やサービスがある場合は、記載すること。 ・各製品におけるスペック等の記載項目については、本紙「2.2.1.1」と同様とすること。 ・本紙「2.2.1.1」における「基本パッケージ」及び「応用パッケージ」の提案製品と、同じ金額で代わりに導入可能、またはより安価な製品やサービスを提案可能な場合は、その旨を明記すること。 （追加費用を要するまたは減額可能な場合は、具体的な金額を記載することが望ましい。）	・参加団体にとって、有用な製品やサービスの選択肢が多数あるか。	必須	絶対評価	7.50	
2.3	仕様書に対する提案（実現性）	2.3.1	「5履行期間」に対する提案	-	-	・本業務全体の納品スケジュールを担保するための具体的な手法を記載すること。 ・詳細なスケジュールや検収方法について、各参加団体と調整するための具体的な手法を記載すること。	・多数の参加団体及び納品が必要な状況を踏まえ、納品を問題なく実施できる手法が具体的かつ根拠とともに示されているか。 ・各参加団体との調整方法について、参加団体の状況が異なることが踏まえられており、かつ具体的な提案がなされているか。	必須	絶対評価	7.00	12.00
2.3.2		「6履行場所及び納品場所」に対する提案	-	-	・本業務における履行場所（各作業場所）について記載すること。 ・納品場所について、各参加団体と調整するための具体的な手法を記載すること。	・セキュリティ等を踏まえ、本業務における履行場所（作業場所）が妥当か。 ・各参加団体との納品場所の調整方法について、参加団体の状況が異なることが踏まえられており、かつ具体的な提案がなされているか。	必須	絶対評価	5.00		

評価項目					提案書記載項目	評価基準（提示用）	提案書記述区分	評価方法	配点	配点		
	大項目	中項目	小項目	(小項目)					(中項目)			
				100.00					100.00			
2.4	仕様書に対する提案（その他追加提案）	2.4.1	「9オプション」に対する提案	-	追加アプリケーション	・提案可能なサービス内容（製品）について、以下の事項を記載すること。 ・具体的な対応内容 ・参加団体（もしくは参加団体が契約する別事業者）と、提案者の役割分担の想定 ・他者と比較して優位と考えられる点 ・1台当たりの金額 ・本紙「2.2.1.1」における「基本パッケージ」及び「応用パッケージ」の提案金額内にて提案できる場合は、その旨を明記すること。	・参加団体にとって有益な内容が提案されているか。	任意	絶対評価	12.00	12.00	
		2.4.2	その他追加提案事項	-	-	・提案上限額の範囲内で、提案者が本業務を受託した際に、有用な提案があれば、参加団体にもたらされる効果と併せて具体的に記載すること（例：調達範囲の製品について、参加団体が調達不要とした場合、どの程度減額されるのか、金額を提示する等） ・上記の根拠を具体的に記載すること。 ・複数の追加提案がある場合の提案額は、様式3－6「見積内訳書」にて、「3.2.その他追加提案事項」に行を追加し記載すること。	・参加団体にとって有益な内容が提案されているか。	任意	絶対評価			
価格評価										20	20	
3.価格評価									合計		20	20
3.1	提案価格および妥当性	3.1.1.	「基本パッケージ」の提案価格（購入価格）	-	-	「基本パッケージ」の購入価格における提案額を記載すること。（様式3－5「見積書」及び様式3－6「見積内訳書」に記載すること。）	別添2「令和8年度 愛知県公立学校における1人1台端末（Chrome）の導入業務評価実施要領」を参照すること。	必須	絶対評価	10.00	10.00	
		3.1.2.	「応用パッケージ」の提案価格（購入価格）	-	-	「応用パッケージ」の購入価格における提案額を記載すること。（様式3－5「見積書」及び様式3－6「見積内訳書」に記載すること。）	別添2「令和8年度 愛知県公立学校における1人1台端末（Chrome）の導入業務評価実施要領」を参照すること。	必須	絶対評価	10.00	10.00	